

コース名		科目名			対象学年			
良医の礎		医学概論			1			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
1・2 学期		植村 貞繁				無		
授業到達目標								
1. 医の原点について理解し、良医とは何かを説明・理解できる。 2. 医師の使命、患者の立場、チーム医療、医療安全、生命倫理、ヘルスプロモーションなどについて理解し、説明できる。 3. 現在の日本における医療制度の現状と問題点について説明できる。 4. 医学・医療に関連する情報を重要性と必要性にしたがって客観的・批判的に統合整理する基本的能力を身につける。 5. ワークショップではチームの一員として議論に参加し、グループの意見をまとめて発表することができる。 6. 医学に関する生涯学習の実践に対する意欲を示す。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/15	月	1	講義	福永	学長	DH:川崎医科大学の理念・目的・目標：「現代につなぐ医の心」	A
2	4/17	水	1	講義	勝山	公衆衛生	生活習慣と健康	B-1, B-3 B-4
3	4/23	火	2	講義	森谷	病理	医学生のモラル・川崎医大生のモラル(倫理教育を含む)	A-1-1), A-4-2)
4~6	5/ 7	火	5~7	演習	植村貞	小児外科	ワークショップ1 (小グループ単位) [理想の医師像・グループ内討議・ポスター作成]	A-1-1), A-1-3) A-3-1)
7~9	5/24	金	5~7	演習	森谷	病理	ワークショップ2 (小グループ単位) メディカル・ミュージアム見学 [MM 集合]	A-1-1), A-4-1)
10	6/11	火	7	講義	森谷	病理	医学生のモラル・川崎大生のモラル (倫理教育を含む)	A-1-1), A-3-1)
11	6/13	木	5	講義	福永	学長	DH: (1) 本学学生が具有すべき資質・能力 (2) 卒業までに身につけるべき資質・能力: 「卒業時到達目標 (卒業時コンピテンス)」	A
12~14	6/17	月	1~3	演習	植村貞	小児外科	ワークショップ3 (小グループ単位) [理想の医師像・グループ内討議・発表]	A-3-1), A-4-1)
15	6/25	火	4	講義	通山	検査診断 (病態)	生命倫理と医学・医療	A-1-1)-2, A-1-1)-3
16	7/ 3	水	4	講義	福嶋啓	非常勤/学園外	政治との関わり: 医療現場から	B, B-4-1)
17	7/10	水	4	講義	福永	学長	DH: 医学教育の質向上を目指す本学の取り組み: 「医学教育モデル・コア・カリキュラム (医師として求められる基本的な資質・能力): CBT, OSCE」, 「医師国家試験出題基準 (医師の任務を果たすのに必要な事項): 医師国家試験」, 「大学評価と医学教育分野別評価」	A
18	9/ 4	水	4	講義	山下	非常勤/学園外	医療と法 (1) -人の出生に関わる法律問題- 自然の親子関係と生殖補助医療による新たな親子関係 患者の権利と医師・患者関係 (倫理教育を含む)	A-1-3)
19	9/18	水	4	講義	山下	非常勤/学園外	医療と法 (2) -医師と患者間に生じる法律問題 (その1) - 診療契約と医療過誤	A-2-1), A-2-2)
20	9/25	水	4	講義	山下	非常勤/学園外	医療と法 (3) -医師と患者間に生じる法律問題 (その2) - インフォームド・コンセント	A-1-1), A-3-1)
21	10/ 2	水	4	講義	福永	学長	DH: 日本の医学・医療の現状: 総合診療と救急医学	A-7-1), B-1-7)
22	10/ 9	水	4	講義	和田	血内	HIV 感染症と後天性免疫不全症候群	C-3-1)-(3), C-3-2)-(4)
23	10/16	水	4	講義	森谷	病理	患者の権利と医師・患者関係 (倫理教育を含む)	A-1-1), A-3-1)

24	10/23	水	4	講義	福永	学長	DH:国際社会および日本における保健・医療の現状と課題	A-7-2), B-1-9)
25	10/30	水	4	講義	植村貞	小児外科	川崎医科大学の医学教育と寮生活	A-3-1), A-4-1)
26	11/ 6	水	4	講義	福永	学長	DH:医科大学と附属病院・川崎学園：チーム医療と多職種連携	A-5-1)
評価方法								
<p>[レポート]30%</p> <p>[プレゼンテーション]30%</p> <p>[出席状況(受講態度)]40%</p> <p>[評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート、プレゼンテーション評価</p> <p>[備考]受講態度、レポート(提出期限遵守も重視)、ワークショップに取り組む姿勢とプレゼンテーションの内容を総合的に評価する。</p>								
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて								
プレゼンテーションのために作成したポスター、その他の成果物を冊子としてまとめ、配布する。								
教科書								
必要に応じてプリントを配布する。								
参考書								
ISBN-9784260015400, 学生のための医療概論 第3版増補版, 千代 豪昭(編集), 医学書院, 2012/01/27 現代医療教育博物館(メディカル・ミュージアム)資料、附属図書館の資料。 医療や医学に関する新聞報道や一般書にも注目し、各人で工夫して勉強することが望ましい。								
準備学習(予習・復習等)								
時間の指定は特にはないが、日頃から医学や医療に関する報道に興味を持つように心がけること。 学生寮での生活も含め、医師をめざすものとして何が大切か、良医とは何か、自分は今何をすべきか、考えること。								
講義についての注意事項								
広い視野から医学・医療を学ぶという態度で講義に臨んで欲しい。								
昨年度からの変更点・改善項目								
変更はない。								
学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
本科目履修には入学時において、他者への共感性や共感能力を備えていることが望ましい。本科目では臨床分野の新展開・新分野に対応できる能力の基礎を育てる。2年次に学ぶ人の行動と心理、医の原則Ⅱ、臨床入門履修のために必須の学問である。								
ナンバリング								
HAIM113								